

目的

今年度クマ類による被害の発生状況を踏まえ、科学的知見に基づき、クマ類の出没や被害の発生要因を分析するとともに、来年度以降の被害防止に向けた総合的な対策の方針（以下、「対策方針（仮称）」という。）を取りまとめる。

論点（案）	ポイント
出没要因と被害対策	<ul style="list-style-type: none">• 大量出没の要因• 被害（人身・農林業等）対策の方向性• 集中的かつ広域的な管理の必要性
指定管理鳥獣の指定 （個体群管理の強化）	<ul style="list-style-type: none">• クマ類の地域個体群の安定的維持と個体群管理の強化の進め方• クマ類（ツキノワグマ、ヒグマ）の指定管理鳥獣への指定
人とクマ類のすみ分けの強化 （人の生活圏への出没防止）	<ul style="list-style-type: none">• 人の生活圏への出没を抑制するため、誘引物の除去・管理、隠れ場所や移動ルートへの刈り払い、電気柵の設置などの生息環境管理、被害防除等の進め方
出没時の対応	<ul style="list-style-type: none">• クマ類が出没した際に円滑な対応ができる出没時の連絡体制の構築• 市街地等での麻醉銃を含む銃による対応の進め方• クマ類の対策を担う専門人材の育成・配置
その他	<ul style="list-style-type: none">• 極端な苦情への対応。• クマ類に関する科学的な知識の普及啓発。

今年度の検討の進め方について

スケジュール（案）

- 12/26（火） クマ類保護及び管理に関する検討会（第1回）
- ・クマ類の生息状況、被害状況等について
 - ・関係団体ヒアリング（北海道、岩手県、秋田県、群馬県、富山県、兵庫県）

- 1/9（火） クマ類保護及び管理に関する検討会（第2回）
- ・関係団体ヒアリング（調整中）
 - ・論点の整理

- 2月頃 クマ類保護及び管理に関する検討会（第3回）
- ・対策方針（案）の検討

**関係省庁・都道府県等と連携して、
令和6年度以降の対策の実施・具体化**